

ヒブワクチン接種に市・独自補助

日本共産党

こんにちは 市会議員 南畑さち代 です

2010・10・19
連絡先
453-7758

2歳までの子どもに 1回3000円を助成

三選された大橋市政の下で、9月9日から10月1日まで9月議会が開催されました。提案項目の中には、私が昨年、12月議会の一般質問でとりあげたヒブワクチンの自己負担への補助の予算が提案され可決しました。実施は12月からとなる予定です。

私は昨年の12月議会の一般質問で「こともたちを中心に罹患する細菌性髄膜炎に対し有効とされるヒブワクチンの接種の公費負担を市として国に求めることや、それまでの間、市としても補助すべき」と求めていました。市は「他市を調査しつつ検討する」と答弁。(和歌山市議会として今年2月議会で議員発議「子どもたちの生命を守るためのヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチンへの公費助成・定期接種化を求める意見書」を国に上げていました)予算額は1290万円。対象は生後2ヶ月から2歳までの子



日本共産党 和歌山市会議員
南畑 さち代

どもで、最高5回までとなつています。ワクチン接種は1回につき7000円ほどかかりますがこの内の3000円を補助するといふものです。子育て中の若い夫婦にとってワクチン接種の負担は大きく、5回受けると3万円以上もかかります。和歌山市の子どもたちが健やかに育つ環境づくりは行政の大きな責任です。特に医療はお金の心配

10月1日から国保改善！ 3カ月の短期証が6カ月に延長など

和歌山市の国民健康保険料は県下で2番目に高く、所得200万円までの方が80%をしめています。1年滞納すると資格証(中核市で4番目に高い発行率)され、窓口で10割負担となります。何とか分納しても、2年間さかのぼって滞納が7期以上あると3カ月、5割を超えていると6カ月の短期保険証となっていました。10年3

月末現在、3カ月の短期保険証は3481世帯。この方が10月1日から6カ月の保険証に変わりました。をせずに安心して受けられることが基本です。国が早期に定期接種に踏み出すこと、市としても、さらに補助の拡充に取り組みよう引き続き頑張ります。



また、分納約束を守っている世帯で、世帯のすべての人が70才以上、父子家庭・母子家庭であり、かつ18歳までの子どももの



私は6月議会で「高すぎる保険料を一人1万円引き下げること」「資格書の発行は止めるべき」と質問しました。

日本共産党楠見後援会の行事

- 楠見後援会決起集会
10月30日(土)午後3時～
河西診療所組合員ホール
- 楠見後援会バスツアー
12月 5日(日)
午前10時30分
河西診療所出発
かじか荘(美里温泉)



(かじか荘)

市長は「資格書の世帯で分納相談を行い、分納約束を守っている世帯は短期証の延長など検討する」と答弁していました。今回の実施はその答弁を実現させたものです。市として「払える保険料とすること」「資格書の発行はやめること」をめざすべきですが、一歩前進であることは間違いありません。私は安心して医療にかかれる和歌山市の実現に向け引き続き取り組んでいく決意です。

